

令和5年度 三珠中学校 研究の概要

1 研究主題

「主体的に課題を解決し、表現する生徒の育成」
～ICTを効果的に活用した授業づくりを通して～

2 主題設定の理由

本校は一昨年度まで、県の道徳教育研究推進校の指定を受け、道徳を中心とした研究を進めてきた。

昨年度は「心豊かで、確かな学力をもち、たくましく活動する生徒の育成」を研究主題とし、サブテーマである「～ICTを有効活用し、主体的に考え議論する道徳科の工夫～」に重点を置き、3年間の道徳科の研究の成果を活かしながら、道徳科の授業の中でICTの有効的な活用方法について検証を行った。並行して、教職員がICT活用技術を身につけ、授業の中でどのように活用できるか研究や研修を行い、多くの成果と課題を確認した。

道徳の授業づくりを通し、研究の目的はある程度達成できたと考えるが、依然、生徒が主体的に授業に取り組んだり、課題を解決したり、表現をしたりする場面では、工夫や、場面が授業の中で十分ではないといった課題が残っている。

教員のICTの有効活用については、授業の中でICTを使う場面が以前より増え、活用の幅を広げることができた、といった成果が挙げられた。一方で、次の2点が課題として挙げられた。一つ目は、教員間で、ICTを活用できる力と活用する機会に差があること、2点目は、ICTを使う場面や使い方を精査する必要があることである。

また、昨年度に引き続き、今年度も町のICT活用推進の担当校となっている。そのことから、ICTにおける上記課題に引き続き取り組み、その成果を広く町内の学校に還元していくことが期待されている。

以上から、今年度の研究主題を「主体的に課題を解決し、表現する生徒の育成」とし、それを実現するための手立てとして、ICTを活用した授業に取り組むこととした。

今年度は、教職員がICTの活用能力をより高めるとともに、効果的なICTの活用法を研究していき研究主題に近づきたいと考える。

3 研究仮説

各教科の特質（特性）に応じ、ICTを教師、生徒ともに効果的に活用することで、生徒が興味関心をもって主体的に課題に取り組み、生徒の課題解決能力や表現力を育むことができるであろう。

4 研究の内容

(1) 授業づくり

- ① 教科の特性を生かした, ICT の活用場面 (個別学習, 共同学習, 一斉学習等) を設定する。
- ② 部会ごとに ICT を効果的に活用する授業の研究を行い, 実践する。

(2) 職員のICT活用力の向上

- ① 職員が授業を見合い, ICTの活用方法や活用場面について学習する機会を設定する。
- ② ICT活用のための研修会を行う。

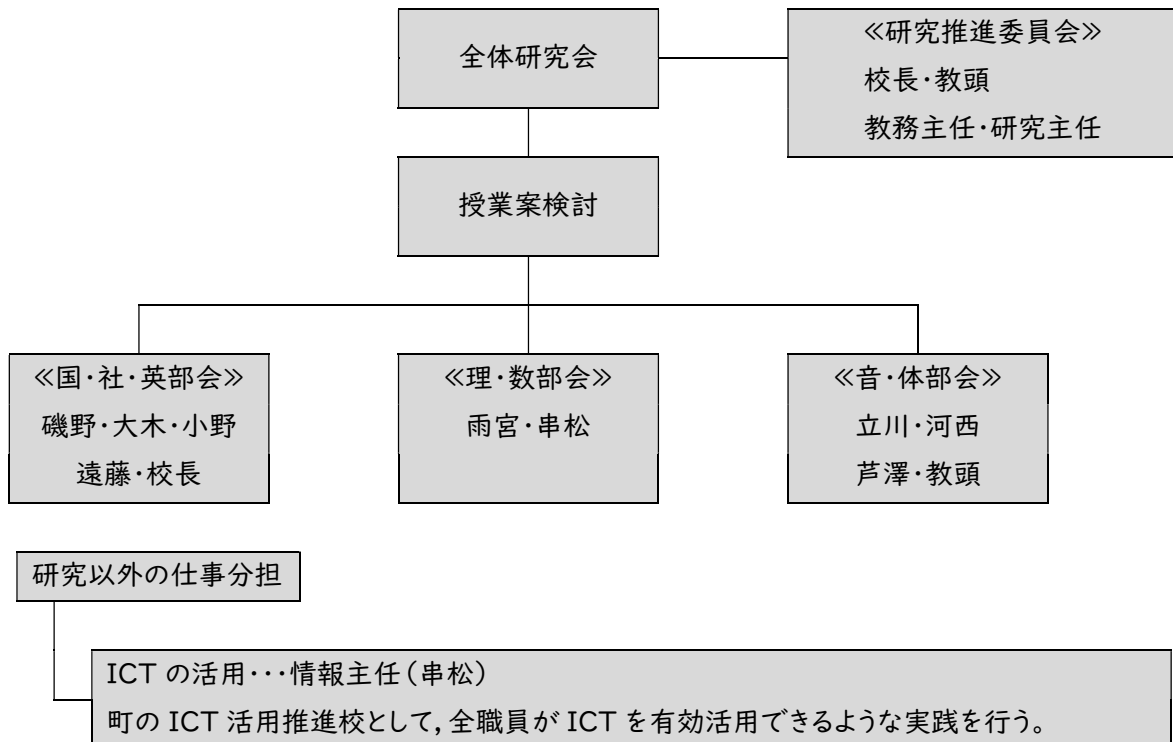
(3) 成果の検証

- ① 教職員と生徒の ICT の活用アンケートの実施 (年2回)
- ② 授業実践後の研究会の実施
- ③ 研究授業検討シートの活用

5 研究の方法

- (1) 毎月 (7, 12, 3月を除いた) 1回程度の研究日を設定し, 計画的に研究を進める。
- (2) 協働的な研究体制のもと, 全職員で研究を推進する。
- (3) ICT活用に関わる研究は, 研究主任と情報担当が連携して推進する。
- (4) 必要に応じて研究推進委員会を開き, 企画・原案作成を行う。
- (5) 講師の招聘を行い, ICTの活用した授業づくりについて学ぶ。研究授業の際は, 指導・助言をいただく。
- (6) ICT活用に関する文献や資料を収集・活用し, 理論に基づいた実践を行う。

6 研究組織



7 研究計画

回	月日	研究会の内容	備考
1	4月14日 (金)	研究の概要 ・前年度の経過の確認 ・今年度の方向性の確認 研究主題, 研究の方法と内容, 研究計画の決定	
2	5月24日 (水)	研究の概要(再提案)・部会別研究会 ※部会別研究会では, これまでに作った授業案を持ち寄り, ICT活用のアイデアについて情報交換をする。	生徒のICT活用に関するアンケート
3	6月26日 (月)	ICTを使った授業① 教科() 学年()	
4	8月21日 (月)	学習会 ・生徒, 教員ともに日常的にタブレットを活用した授業にどう取り組むか ・個別最適な学び・協働的な学びを進めるために, 授業でタブレットをどのように活用するか	山梨大 三井一希先生
5	9月22日 (金)	ICTを使った授業② 教科() 学年()	
6	10月30日 (月)	研究授業① 教科() 学年()	指導主事招聘
7	11月22日 (水)	研究授業②(初任研 研究授業) 教科(保健) 学年()	指導主事招聘 生徒のICT活用に関するアンケート
8	1月26日 (金)	研究のまとめについて ・研究のまとめアンケートについて ・研究紀要について	
9	2月19日 (月)	研究のまとめと来年度の方向性 ・今年度の研究の成果と課題 ・本年度のまとめと来年度の方向性	